

2026 年度シラバス

中学 2 年



駒沢学園女子中学・高等学校

宗 教(2026 年度)

単位数	1 単位
担当	遠藤 光賢
教科書	駒沢学園の仏教（駒澤学園） 道徳 2(光村図書)
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

駒沢学園の歴史と建学の精神を理解し、仏教主義学校としての理念を学ぶと共に、道徳に替わる教科として宗教に関する一般的な知識と教養を養い、興味関心を高めることにより、現代社会の諸問題に関する考察力を身に着ける。

〔中期目標〕

建学の精神・日々のお唱えの意味と目的を学ぶことにより、駒沢学園がめざす生徒像を理解すると共に、釈迦の生涯を学ぶことにより、仏教の持つ道徳的な考え方を理解し、自分で考え行動できるようになる。

〔長期目標〕

仏教を基盤とした道徳的な理念を理解し、より良き生きるためにどのように行動すべきか考えられるようになる。あわせて、「いのち」について考え、どのように生きていくことが大切か、各自が自分のこととして考えられるようになる。

2. 副教材・参考書

駒沢学園の仏教（駒澤学園）
道徳 2(光村図書)

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

朝礼や終礼・会食でお唱えする「三帰礼文」・「四弘誓願文」・「五観の偈」などを、丁寧にお唱えしましょう。また、式典への積極的な参加や挨拶や清掃など日々の活動を大切にすることが、授業の理解にもつながります。試験に向けては、テキストをきちんと読めるようになっておいてください。

4. 宿題・課題・再試について

- ・ 宗教科の授業で取り上げる社会の諸問題に関する探究授業では、グループワーク・発表を含みます。
- ・ 視聴覚教材を見ての、感想や意見などをロイロノートに提出します。
- ・ 予習・復習課題は、ロイロノートに提出します。
- ・ 坐禅実習には真剣に取り組みましょう。

5. 評価の基準について

- ・ 単元テストの得点(80%)、提出物と坐禅実習(20%)により評価をする。

6. その他

- ・ 授業内容は、実際の授業時間数などにより、順番が前後したりすることもあります。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	1、「山上忌」について【p 66～p 67】 ・学校行事としての「山上忌」について考える。 2、「花まつり」について【p 52～p 56】 ・「花まつり」を題材として、「生命の誕生」とは何か、「いのち」とは何か考える。 3、釈迦の生涯について (1) ・誕生から出家までを学習し、釈迦の悩みについて、現代社会での問題と照らし合わせながら考える。 4、ヨガの国際デー ヨガの原点を学び実践する 5、坐禅実習
二学期	期末	1、「追善記念日」について【p 57】 ・学校行事としての「追善記念日」 ・「死」とはどのようなことか考える。 ・日本人は死についてどのように考えたのか、「地獄」・「極楽」などと結びつけながら学習する。 2、釈迦の生涯について (2) ・修行から成道までを学習し、釈迦の悩みについて、現代社会での問題と照らし合わせて考える。 3、「摂心会」と「成道会」について【p 58～p 61】 ・学校行事としての「摂心会」と「成道会」 ・摂心会が日本にどのように取り入れられてきたのか考える。 ・自分の生きる目的や意義について考える。 4、写経・写仏 5、坐禅実習
三学期	学年末	1、「誕生記念日」について【p 62～p 63】 ・学校行事としての「誕生記念日」について考える。 2、「涅槃会」について【p 64～p 65】 ・学校行事としての「涅槃会」について考える。 3、釈迦の生涯 (3) ・釈迦の教えと涅槃までについて学習する。 4、坐禅実習

① 中学2年 国語（現代文分野）

単位数	5単位の3
担当	天野 友子
教科書	国語2（光村図書）
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

「言葉」を楽しみ、文学作品に親しむ気持ちを育てる。

到達目標

- (ア) 本を年間30冊以上読み、語彙力・表現力を身に付ける。
- (イ) 漢検4級以上を取得する。
- (ウ) 予習をして授業に臨み、学習の習慣を定着させる。

2. 副教材・参考書

- ・国語のワーク2（光村教育図書） ・新国語便覧（秀学社） ・セレクト漢字検定5級～2級
- ・新中学問題集 国語2年（教育開発出版）

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- (ア) 予習・復習を宿題という形で随時出すので、生徒たちは必ず宿題を終えた上で授業に参加する。
- (イ) 授業の内容は毎時間明確に提示し、終了時に確認する。
- (ウ) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (エ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

(ア) 宿題…原則、毎時間出す。

内容は授業で学習した範囲の復習と次の授業の予習を中心とする。

- (イ) 課題…1単元終了ごとに単元別試験を実施する。レポート作成などを行う場合もある。
- (ウ) C' Range テストを導入し、漢検4級以上の取得を目指して学習とテストを繰り返す。
- (エ) 月に1度、新中学問題集の指定された課題を自宅学習で取り組み、提出する。

5. 評価の基準について

- (ア) 単元別試験 50%
- (イ) 学力試験 30%
- (ウ) 以下の5点をパフォーマンス評価とし、20%

宿題の提出状況

課題の評価

小テストの得点

授業内に実施する音読や発表内容の評価

授業態度

(エ) 観点別評価を行う。

6. その他

C' Range 実施については、以下の通りとする。

- ① 1週間に1度、授業時間内で「セレクト漢字検定5級～2級」内の読み・漢字検定問題演習をMicrosoft Forms上のテストにて実施。
- ② 漢字の書き問題は、新出漢字も含めて毎回の単元別試験に盛り込む。
- ③ 1週間に1度、試験範囲の漢字練習を「セレクト漢字検定5級～2級」に直接取り組み、提出させる。
- ④ 100点満点、合格点を70点以上とし、不合格の場合は適宜課題や補習を課す。

年間指導計画				
学期	月	教科書ページ 単元配当時間	授業内容（教材）	指導内容・単元目標・備考等
第一学期	4	中扉 P. 16～27	詩「見えないだけ」 小説「アイスプラネット」	・心情を表す言葉に着目して、作品の理解を深める。
	5	P. 42～51 P. 52～53	報告「クマゼミ増加の原因を探る」 《情報》思考の視覚化	・段落に着目して文章を読む。段落の関係、要点、要旨を理解する。
		P. 62～67 P. 68	短歌「短歌に親しむ」/短歌の創作教室 短歌「短歌を味わう」	・豊かな短歌の世界を味わい、伝統的な表現やものの見方と新しい表現の融合に気づく。
	6	P. 69～71 P. 72～75	随筆「言葉の力」 《言葉1》類義語・対義語・多義語 語彙を豊かに	・人や言葉との出会いについて考える。
		7	P. 82～89	
第二学期	8 9	P. 92～103	小説「ヒューマノイド」 ・登場人物の言動の意味を考える	・登場人物の心情を理解しながら、主題をとらえる。
	10	P. 104～109	随筆「字のない葉書」 ・表現の効果を考える	・様子や心理を表すことばに着目して、心の変化を読む。
		P. 110～111 P. 113～115 P. 122～129	《書く》表現を工夫して書こう 《言葉2》敬語 論説「モアイは語る―地球の未来」 ・論理の展開を吟味する	・論理の展開を意識しながら筆者の主張を読みとる。
		11	P. 130～131 P. 186～189 P. 192～199 P. 200～202	《情報》根拠の吟味 《話す聞く》立場を尊重して話し合おう 《読書》「自分らしさ」を認め合う社会へ 《読書案内》本の世界を広げよう
	12			
第三学期	1	P. 204～221	小説「走れメロス」	・展開を読み取り、人物の心情の移り変わりをとらえ、人物像に着目する。
	2	P. 224～227 P. 228～229	《書く》描写を工夫して書こう 《言葉3》話し言葉と書き言葉	
		3		

②中学2年 国語（古典・文法分野）

単位数	5単位の1
担当	天野 友子
教科書	国語2（光村図書）
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

古典への興味関心を育てる。古人の考え方や風習を理解し、古典に親しみを持たせる。
基本的な文法事項を理解する。

到達目標

- (ア) 古文・漢文を読み慣れる。
- (イ) 百人一首を覚える。
- (ウ) 文法的な知識を得る。

2. 副教材・参考書

- ・国語ワーク（光村教育図書） ・新国語便覧（秀学社） ・文法の学習（浜島書店）
- ・小倉百人一首（京都書房）

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- (ア) 古文・漢文のリズムを体得できるように音読をする。
- (イ) 予習・復習を宿題という形で随時出すので、生徒たちは必ず宿題を終えた上で授業に参加する。
- (ウ) 授業の内容は毎時間明確に提示し、終了時に確認する。
- (エ) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (オ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- (ア) 宿題…原則、毎時間出す。

内容は授業で学習した範囲の復習と次の授業の予習を中心とする。

- (イ) 課題…1単元終了ごとに単元別試験を実施する。暗唱テストなどを行う場合もある。

5. 評価の基準について

現代文分野と合算し評価する。

6. 書写について

各学期に数回、金曜日1時間に書写の時間を設ける。 担当教諭：木立マリコ

年間指導計画				
学期	月	教科書ページ 単元配当時間	授業内容 (教材)	指導内容・単元目標・備考等
第一 学 期	4	文法の学習 P. 38～73 P. 36～39	百人一首 1～40	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いが正しく読みながら、短歌のリズムを味わう ・文法的な理解 ・冒頭暗唱 ・古典の文章を朗読し、その表現に慣れ、作品を読み味わう。
	5		文法 ①名詞・代名詞 ②動詞 ③形容詞 ④形容動詞	
	6		『枕草子』 暗唱 冒頭 うつくしきもの 月のいと明きに	
第二 学 期	8	文法の学習 P. 74～117 P. 146～153 P. 154～157	百人一首 41～80	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いが正しく読みながら、短歌のリズムを味わう ・文法的な理解 ・冒頭暗唱。音読することで七五調のリズムを味わう。 ・場面の状況や登場人物の心情を考える。 ・古典の文章を朗読し、その表現に慣れ、作品を読み味わう。
	9		文法 ⑤副詞 ⑥連体詞 ⑦接続詞・感動詞 ⑧助詞 ⑨助動詞	
	10		『平家物語』 暗唱 冒頭 扇の的	
	11		『徒然草』 暗唱 冒頭 仁和寺の法師	
第三 学 期	1	P. 118～127 P. 158～164	百人一首 81～100	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いが正しく読みながら、短歌のリズムを味わう ・文法的な理解 ・漢詩の基本を学び、独特のリズムを味わう → 暗唱
	2		文法 ⑩紛らわしい語の識別 ⑪敬語	
	3		漢詩の風景 暗唱	

③ 中学2年 国語（講読・表現分野）

単位数	5単位の1
担当	中野 早苗
教科書	指定された図書・国語2（光村図書）
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

「言葉」を楽しみ、文学作品に親しむ気持ちを育てる。

教科書の「話すこと」「聞くこと」「書くこと」の分野を学習し、国語の応用・発展的な力をつける。

到達目標

(ア) 本を年間30冊以上読む。

(イ) 読んだ本について感想や意見を書くことができる。

(ウ) 自分の考えたことを文章にまとめたり、スピーチをしたりして伝えることができる。

(エ) 初見の文章を読み解く力をつける。

2. 副教材・参考書

・新国語便覧（秀学社） ・プリント

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

(ア) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。

(イ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

(ア) 宿題…月に一度読書シートを提出する。

(イ) 課題…1単元終了ごとに、レポート作成やスピーチの発表会を実施する。

5. 評価の基準について

課題の評価を中心として評価をつける。

上記の課題は主にパフォーマンス評価の中に盛り込むこととする。

6. 指定図書

『ヒロシマの風』 吉永小百合編 角川つばさ文庫

社会 (2026 年度)

単位数	3 単位
担当	太田 海祿
教科書	・社会科 中学生の地理 (帝国書院) ・新編 新しい社会 歴史 (東京書籍)
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

地理 (日本の諸地域) と歴史 (江戸時代以降) の学習を通して、現在の街の姿や社会の仕組みが、「地理的条件 (地形・気候など)」と「歴史的背景」の交差点の上に成り立っていることを理解します。また、自分に合った学習方法 (一人で集中する、仲間と協働するなど) を自ら選択・調整しながら基礎知識を確実に身につけ、さらにその知識を使って「なぜ？」を論理的に考察し、表現する力を養います。

2. 副教材・参考書

- ・中学校社会科地図 (帝国書院)、マイクリア 社会全学年、地理院地図などの Web GIS ツール、公的機関の史料アーカイブ等の指定リンク

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業の基本は「自由進度学習」です。どのような学習方法が自分に合っているか、試行錯誤してください。
- ・単元の基礎知識が定着したかを確認するため、小テストを毎単元実施します。80 点以上で合格です。不合格でも何度でも挑戦できるので、諦めずに取り組みましょう。
- ・板書を写すだけの時間は取りません。その代わりに、ワークシートを使って、資料を読み解き、自分の考えをまとめることに時間を使います。

4. 宿題・課題・再試について

- ・学期末や研修旅行の前後などに、レポートなどを課します。これは、地理と歴史の知識を組み合わせる重要な課題です。
- ・単元テスト・単元まとめテストで基準点に達しない場合は、再試や補習を実施します。

5. 評価の基準について

- ・単元テストの得点(50%)、学力試験(30%)、発表・ノート(20%)により評価をする。
- ・評価は歴史と地理を合わせたものとする。
- ・観点別評価をつける。(「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」)

6. その他

- ・授業計画は予定であり、変更することがある。

学期	主な学習内容 (地理：日本の諸地域 / 歴史：江戸時代以降)	
1 学期	【地理】 第 3 章 日本の諸地域 第 5 節 関東地方 第 6 節 東北地方 第 2 節 中国・四国地方	【歴史】 江戸時代 第 4 章 近世の日本 第 2 節 江戸幕府の成立と対外政策の変化 第 3 節 産業の発達と幕府政治の推移 第 5 章 戒告と近代日本の歩み 第 1 節 欧米における近代化の進展 第 2 節 欧米の進出と日本の開国
2 学期	【地理】 第 3 節 近畿地方 第 1 節 九州地方 第 4 節 中部地方	【歴史】 第 3 節 明治維新 第 4 節 日清・日露戦争と近代産業 第 6 章 二度の世界大戦と日本 第 1 節 第一次大戦と日本 第 2 節 大正デモクラシーの時代 第 3 節 世界恐慌と日本の中国侵略
3 学期	【地理】 第 7 節 北海道地方	【歴史】 第 4 節 第二次世界大戦と日本 第 7 章 現代の日本と私たち 第 1 節 戦後日本の出発 第 2 節 冷戦と日本の発展 第 3 節 新たな時代の日本と世界

中2数学 (2026年度)

単位数	4単位
担当	小西 友香、萩原 信子
教科書	数研出版 これからの数学 2
対象生徒	中学2年生 必修

1. 授業の目標

- (1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。
- (2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- (4) 具体的な事象について観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を培う。

2. 副教材・参考書

数研出版：スタンダード問題集 2年

新学社：数学のベーシックマスター 2年

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習のポイント：教科書の内容を読み、その単元の関係ある中学1年までの内容をしっかり復習し理解しておく。

復習のポイント：その日の授業で解いた問題を、もう一度解き、答え合わせをする。この勉強を毎日積み重ねることにより、確実な力を身につける。また、1つの単元が終わるごとに、問題集等でもう1度自分の理解・記憶を確かめることも大事である。基本的な学力がいたら問題集の応用問題を数多く解き、数学的な応用力・思考力を身につくように努力する。

4. 宿題・課題・再試について

◎Mレンジテストは「数学のベーシックマスター2年」の課題をテスト前に提出し、テストを行う。

70点未満は不合格とし、再試を行う。テスト前の課題提出は、提出点を含む。

◎単元テスト前に「スタンダード問題集 2年」の課題と単元の振り返りを提出する。提出点を含む。

◎宿題は、プリント、問題集など適宜出題する。

◎定期試験（単元及びまとめテスト）では、50%未満は不合格とし、再試を行う。

5. 評価の基準について

◎以下の割合で、定期試験・学力試験・パフォーマンスにて10段階評価をつける。

- ・定期試験（単元及びまとめテスト）の平均点 (50%)
- ・学力試験 (30%)
- ・パフォーマンス評価（学期ごとに変更することもある。変更する場合は、学期の始めの授業で連絡する。）
Mレンジテスト (8%) ， 提出物 (8%) ， 単元の振り返り (4%)

6. 数検加点について

◎取得している数検の級によって、単元テストや単元まとめテストに加点する。

ただし、満点を上限の点とする。また、50点満点のときは、規定の半分の点数を加点する。

7. その他

◎全員数検取得を目指す。

8. 試験計画

◎試験の内訳は、基本問題80%、応用・初見問題20%程度とする。

授 業 計 画		
学期	試験	授 業 内 容
一学期	単元①（5月）	1章 式の計算 ① 式の計算
	単元②（5月）	1章 式の計算 ②文字式の利用
	単元③（6月）	2章 連立方程式 ①連立方程式
	まとめ	単元テスト①～③のまとめテスト+単元④連立方程式の利用
二学期	単元⑤（9月）	3章 1次関数 ① 1次関数
	単元⑥（9月）	3章 1次関数 ② 1次関数と方程式 ③ 1次関数の利用
	単元⑦（10月）	4章 図形の性質と合同 ① 平行線と角
	単元⑧（11月）	4章 図形の性質と合同 ② 三角形の合同 ③ 証明
	まとめ	単元テスト⑤～⑧のまとめテスト
三学期	単元⑨（1月）	5章 三角形と四角形 ① 三角形 ② 四角形
	単元⑩（2月）	6章 データの活用 ①データの散らばり ②データの傾向と調査
	まとめ	単元テスト⑨⑩のまとめテスト+単元⑪確率

中学2年 理科 (2026年度)

単位数	4単位
担当	吉田かおる
教科書	中学校 科学2 (学校図書)
対象生徒	中学2年生

1. 授業の目標

科学的現象についての実験・観察を行い、自然に対する関心を高め、基礎知識を身につける。

2. 副教材・参考書

Key ワーク理科2 (学図) 教育開発出版

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

授業後にその日学習した内容について、教科書・ノートを見直し、復習をする。

副教材のテキストを解き、基礎用語を確認し、応用問題で分からないところは質問をする。

4. 宿題・再試について

宿題：定期的の問題集を宿題として出す。提出状況をパフォーマンス評価の対象とします。

長期休暇には、別問題集やレポートなどを宿題として出します。

再試：単元別 (まとめ) 試験の点数が基準に満たない場合、再試験や課題を行います。

5. 評価の基準について

定期試験(50%)、学力試験(30%)、パフォーマンス(20%)により評価をする。

6. その他

授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容
一学期	単元①	[化学] 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなりたちと化学変化
	単元②	第2章 化学変化と物質の質量
	単元③	第3章 化学変化の利用
	単元④	[生物] 動植物の生きるしくみ 第1章 生物のからだと細胞
二学期	単元⑤	第2章 植物のつくりとはたらき
	単元⑥	第3章 動物のつくりとはたらき
	単元⑦	[物理]電流のはたらき 第1章 電流・電圧・抵抗
	単元⑧	第2章 発電
三学期	単元⑨	第3章 電流の正体
	単元⑩	[地学]天気とその変化 第1章 大気の性質と霧のでき方 第2章 天気の変化
	単元⑪	第3章 日本の天気

保健体育(2026年度)

単位数	3単位
担当	二見、井上
教科書	最新中学校保健体育(大修館)
対象生徒	中学2年 ※選択等であれば記載

1. 授業の目標

- ・運動の楽しさや喜びを味わい、基本的な技能を身に付ける。
- ・運動を通して体力の向上を図る。
- ・競走や協同の経験を通して公正さ・協力性・自分の役割を知ることが育てる。
- ・生涯を通しての健康の大切さを学ぶ。

2. 副教材・参考書

ステップアップ中学体育(大修館)

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・ケガのないように準備運動をしっかりと行う。
- ・説明をしっかりと聞き、安全を第1に考える。

4. 宿題・課題・再試について

- ・各運動における競技施設やルールについて調べ学習をおこなう。

5. 評価の基準について

- ・保健の定期試験(40%)、実技試験(40%)、課題提出(20%)により評価をする。

6. その他

授業計画 (スポーツ)		
学期		授業内容 (教材)
一学期	実技	スポーツテスト 50M走・ハンドボール投げ・立ち幅跳び 体育祭種目練習 水泳 クロール・平泳ぎ
二学期	実技	バレーボール アンダーハンドパス オーバーハンドパス 対人パス サーブ スパイク ゲーム 持久走 グラウンド3周・5周
三学期	実技	創作ダンス グループ分け・選曲・創作 発表会 縄跳び 縄跳び検定

授業計画 (保健)		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	単元 まとめ テスト	調和のとれた生活 健康の成り立ち 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 心身の発達と心の健康 体の発育・発達 呼吸器・循環器の発育・発達 生殖にかかわる働きの違い 性への関心と行動
二学期	単元 まとめ テスト	知的機能・上位機能の発達 社会性の発達と自立 自己形成 欲求とその充足 心と体のかかわりとストレス ストレスへの対処のしかた 生活習慣の健康への影響 生活習慣病 生活習慣病の予防 がんとその予防
三学期	単元 まとめ テスト	生活習慣病・がんの早期発見とその回復 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処

中学 2 年 音楽(2026 年度)

単位数	1.5 単位
担当	加瀬智子
教科書	中学生の音楽 2,3 上、中学生の器楽(教育芸術社)
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

- ・音楽活動を通して、表現の能力を高めるとともに、音楽を愛する心を育む。
- ・音楽の構造に関心を持ち、主体的に表現を工夫して取り組む。
- ・鑑賞を通して、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

2. 副教材・参考書

中学生の器楽(教育芸術社)

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・合唱、合奏はクラスで一つのものを作り上げることを主とするので、授業では指示や説明をしっかりと聞き、集中するよう心がける。(授業準備なども含む)
- ・実技(歌唱、リコーダー)の上達に向けて、積極的に授業に参加することが望ましい。
- ・プリント類などの提出物は期限内に提出する。
- ・授業内筆記テスト前には確認プリントを復習してから受験する。
- ・歌唱や器楽の練習の参考になる音源や動画を使い、授業の振り返りを行う。

4. 宿題・課題・再試について

授業中に終わらなかった課題は宿題とする。

5. 評価の基準について

- ・学期毎に授業内で筆記テスト(小テスト)と実技テスト(歌唱、リコーダー)を行い、実技テストを重視する。
- ・実技 70% 筆記 20% 提出物 10% ※割合は学習内容に応じて変更する場合がある。
- ・実技試験の評価基準は、指導の中であらかじめ生徒に伝える。

6. その他

授業計画は予定であり、内容が変更となる場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	歌唱 翼をください 夏の思い出 鑑賞 交響曲第5番 ハ短調 楽典 音符、休符について、音名
二学期	期末	器楽(アルトリコーダー) オーラリー、アニーローリー 歌唱 、荒城の月、サンタ ルチア 仏教聖歌(道元禅師賛歌、成道会の歌、四弘誓願文) 鑑賞 フーガト短調、オペラ「アイーダ」から
三学期	学年末	器楽(アルトリコーダー) カノン3、威風堂々 合唱 合唱祭に向けて 鑑賞 歌舞伎「勸進帳」 創作 リズムアンサンブル

単位数	1.5 単位
担当	高橋 千草
教科書	美術2・3 上・下 日本文教出版
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

2. 副教材・参考書

特になし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業内で疑問を解決し、計画的に作品を完成できるような姿勢で参加することが望ましい。
- ・授業を欠席した場合は提出期限前までに放課後自主的に不足分を補う事が望ましい。
- ・課題制作の上で試行錯誤しながらも粘り強くチャレンジする姿勢が望ましい。
- ・課題は期限までに完成させ必ず提出する。

4. 宿題・課題について

- ・授業内で課題が完成されない場合は宿題となる。

5. 評価の基準について

- ・各学期の課題（提出物100%）により 評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業の進捗状況・臨時休校により課題の増減がある場合もある。
- ・リモート授業等で授業内容の変更あり

	授業計画
1 学期	デザイン（絵文字） 絵画（透視図法に気付く・知る・使う） 立体（木工）
2 学期	デザイン（イメージと形・色の関係） 鑑賞・研修旅行と共にゲルニカ
3 学期	アニメーション（コマ撮り）

中2 英語(2026年度)

単位数	6単位
担当	山本、ンクナ、ジョセフチャック
教科書	Here We Go 2(光村出版)
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

- (1) 教科書の表現を利用して、自分の言葉で身の回りのことを表現できる英語力を身に着ける。
- (2) 自分に必要な課題を設定して、自ら学ぶ姿勢を養成する。
- (3) 教科書の内容を何度も繰り返し、聞く・書く・話す・読むことによって、中学英語の定着を図る。

2. 副教材・参考書

光村図書版：ラウンドシステムワークブック、中学必修テキスト
正進社　　：New Listening Plus 2

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習のポイント：各 Unit の内容を音声で聞いて、音声から内容を理解する。

復習のポイント：その日にならった Unit の内容を何度も聞いたり、音読したりする。暗唱できるぐらい音読することが英語力の土台を築くために重要である。

4. 宿題・課題・再試・評価について

- ・ E' Range Test は隔週 1 回程度実施。70 点未満の者は再試をする。
- ・ 宿題は、音読・ワークブック・ライティング等を適宜課題として出す。
- ・ 単元テストは、加点を含まない素点が 50% 未満の場合、再試（補講・課題）を課す。

5. 評価の基準について（※状況に応じて、内容を変更する可能性がある。）

- ・ 単元テスト(50%の評価)、学力試験(30%の評価)、パフォーマンス評価(20%)により評価する。
- ・ パフォーマンス評価は英会話の授業での発表が 10% の評価、提出物や音読が 10% の評価となる。

6. その他

- ・ スピーチコンテストへ向けて積極的な参加を促す。
- ・ 各学期の最後には、プレゼンテーション（個人・グループ）やスキット発表などの発表活動を課す。

授業計画（※状況に応じて、内容を変更する可能性がある。）

学期	単元テスト	授業内容（教材）
一学期	5月 単元テスト1	Round1&2 Unit1～Unit3 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれのUnitのストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	5月 単元テスト2 単元テスト3	Round3&4 Unit1 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit1 本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	6月 単元テスト4	Round3&4 Unit2&3 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit2&3 本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	6月 単元まとめ テスト	単元テスト1～4の内容をまとめるテスト。
二学期	9月 単元テスト5	Round1&2 Unit4～Unit6 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれのUnitのストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	10月 単元テスト6 単元テスト7	Round3&4 Unit4&5 音読と教科書の内容の定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit4&5 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	11月 単元テスト8	Round3&4 Unit6 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit6 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	11月 単元まとめ テスト	単元テスト5～8の内容をまとめるテスト。
三学期	1月 単元テスト9	Round1 Unit7～Unit8 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれのUnitのストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	2月 単元テスト10 単元テスト11	Round2&3&4 Unit7&8 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit7&8 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	2月 単元まとめ テスト	単元テスト9～11の内容をまとめるテスト

技術家庭（2026年度）

単位数	2単位
担当	関野 心寧（家庭）
教科書	新 技術・家庭（教育図書）
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、衣生活、食生活分野においては【SDGs 12: つくる責任 つかう責任】を意識し、住生活分野においては【SDGs 11: 住み続けられるまちづくりを】を意識して生活の中の課題を見つけ自ら解決方法を考える力を養う。

2. 副教材・参考書

- ・ トートバック製作（クッコサム NEW バルキーバック）
- ・ 間取り図模型製作

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・ 教科書の内容について理解を深め、プリントや課題に取り組む。
- ・ 提出期限までに作品が仕上がるよう努める。

4. 宿題・課題・再試について

- ・ 授業プリント、課題、作品など提出物をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・ 試験の結果が50点未満の場合、課題を課す。

5. 評価の基準について

- ・ 1学期：まとめテスト(80%)、作品(20%)
- ・ 2学期：まとめテスト(80%)、課題(20%)
- ・ 3学期：まとめテスト(80%)、作品(20%)

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	中学まとめテスト	第4章 私たちの衣生活 3 自分に合った衣服を手に入れよう 4 衣服の手入れをしよう 5 衣服を計画的に活用できるようになろう 〈実習：トートバッグ製作〉
二学期	中学まとめテスト	第3章 調理と食文化 1 食品の選択と購入について考えよう 2 購入した食品を適切に保存しよう 3 調理の基礎を知ろう 4, 5, 6 魚、肉、野菜を調理しよう 〈調理実習〉
三学期	中学まとめテスト	第6章 私たちの住生活 1 住まいの働きを知ろう 2 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう 3 健康を守る室内環境の整え方を考えよう 4 家庭内事故から家族を守ろう 5 災害に備えた安全な住まい方を考えよう 〈実習：間取り図製作〉

中2 探究 (2026 年度)

単位数	1 単位
担当	平田・山本里・関野・早川
教科書	なし
対象生徒	中1 美

1. 授業の目標

- ・ 各自の興味関心のあることの中で、より深められるテーマを見つけよう！
- ・ 探究学習を知る
- ・ 探究のスキルを身につける
- ・ 興味を持つ視点を養う
- ・ ある課題に対して、知識を蓄え、自分なりの見解や意見がもてる生徒になる
- ・ 探究学習の基礎を学び、レポートの形でのまとめ方や発表方法を学ぶ

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・ リフレクションを行うことで次の学びに繋げ、自己肯定感を高める
- ・ 教室内でのグループワークや個人探究を通じて常に自身の思考を可視化する
- ・ 成果として、スライドによる発表など様々手段で発表を行う
- ・ AI についても積極的に使うことで情報リテラシーを身につける

4. 宿題・課題・再試・評価について

長期休暇中は調べ学習や資料作成などの宿題を課す

5. 評価の基準について

- ・ 授業の態度、出欠席、各自の探究の充実度を考慮に入れる。

授業計画		
学期	項目	授業内容 (教材)
2 学期	研修・事後分析	自分の興味関心のあるテーマを見つけ、「はてな」を探す。 疑問から仮説を考え、検証の仕方を考える。 アンケートや資料を活用し、答えのない問いを探究する。
3 学期	統合・成果物作成・発表	成果発表会に向けて、レポート作成、スピーチ原稿の作成、リハーサルを行う。 本番後には振り返りを行い、自身の学びについて客観的に見つめ直す

中2書写(2026年度)

単位数	月1単位
担当	木立マリコ
教科書	中学書写(光村図書)
対象生徒	中学2年美

1. 授業の目標

字形を整え文字の大きさ、配列、配置に気を付けて書く。
点画の省略を理解した行書や、行書に調和する仮名を学ぶ。

2. 副教材・参考書

別冊 書写ブック

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

時間配分を考え、できるだけ集中して練習できるようにする。

用具の取り扱いに十分注意する。

4. 宿題・課題・再試について

基本的に1時間で一度、作品提出をする。
書初め等は例外とする。

5. 評価の基準について

提出作品により基本となる評価を付ける。

提出作品は全体の八割を占め、残りの二割がノート点と授業態度点。

作品の出来があまり良くなくても、コツコツと努力を重ねている者に関しては考慮する。

6. その他

年間計画は変わることがある。

学期	月	時	単元・教科書ページ	授業内容 (教材)	指導内容・備考等
1	4	1	姿勢・筆記具の持ち方	P、30～39	・用具・学習態度の確認
		1	用具の準備・片付け	プリント	
2	5	1	運筆の練習	プリント	・自身の名前を書く ・行書 点画の省略 ・字母の学習 行書でいろは歌 ・行書 筆順の変化 ・行書と仮名の調和 ・条幅に書く ・行書と仮名の調和
		5	名前の練習	P、66～69	
		9	行書の学習「積雲」	P、74～75	
		10	夏休みの課題	P、70～73	
3	11	2	行書の学習「紅花」	P、76～77	・正しい字形を覚えながら 多くの文字を書く
		1	行書の学習「豊かな森」	P、141～152	
		1	書き初めの書き方		
3	2	1		プリント	
		1	冬休みの課題		
		1	書き初め		
		1	硬筆の学習		

単位数	1 単位 (10 月りんどう祭まで)
担当	中村 敦子、早川 日加里、鈴木 若葉、ES
教科書	オリジナルプリント
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標

- ①中国の音声と音のしくみに親しみ、日常の挨拶や自己紹介を中国語でできるようにする。
- ②中国の文化や生活に興味を持って、日本との違いを比較してみる。

2. 副教材・参考書

オリジナルプリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

授業で配布するプリントをファイリングして、毎回の授業に持ってくること。

授業で学んだ中国語表現を家庭でも発音してみること。

中国について、観光やドラマ、文化など、興味・関心のある分野で自ら調べるなどすると、より学習効果がある。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭発表に向けて、調べ学習やプレゼン用のスライド作成など課されることがある。

発表は、授業内で意見を出しあい、内容を決定する。

5. 評価の基準について

- ・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

・中 1 は、韓国語・フランス語・中国語のうち必ず 1 つを選択する。中 2・中 3 は、日本文化・プログラミングを加えた 5 つから 1 つを選択する。

・りんどう祭では、全ての授業が、講堂ステージで、成果発表を行う。

授業計画	
学期	授業内容 (教材)
前期 (りん どう 祭 ま で)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な中国語の挨拶 2. 中国語で自己紹介、自分の名前を中国表記で書く 3. 中国の発音(ピンインと声調のしくみ) 4. 簡体字と繁体字 5. 中国の文化と生活 6. 基本的な中国語の会話 7. 基本的な中国語の文法 8. りんどう祭に向けての発表準備

21WS 前期 韓国語 (2026 年度)

単位数	1 単位
担当	権 本間 井上 山本 (里)
教科書	なし (オリジナルプリント)
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標

- ①韓国語の基礎を習得し、日常の挨拶や自己紹介を韓国語でできるようにする。
- ②韓国の文化や生活に興味を持って、日本との違いを比較してみる。

2. 副教材・参考書

オリジナルプリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業で配布するプリントをファイリングして、毎回の授業に持ってくること。
- ・授業で学んだ韓国語表現を家庭でも発音してみること。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭に向けて、調べ学習やプレゼン用のスライド作成などを課されることがある。

5. 評価の基準について

授業への出席状況によって評価する。

6. その他

授業計画	
学期	授業内容 (教材)
前期 (りんどう祭まで)	1. 韓国語の挨拶 2. 韓国語で自己紹介 3. 韓国語の発音 (母音と子音のしくみ) 4. ハングル文字の書き方 5. 韓国の文化と生活 6. K-POP について 7. 韓国語の基本文法 8～13. りんどう祭に向けての発表準備

単位数	1 単位
担当	講師, 平田, 山口, 山本
教科書	特になし
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標

フランス語とともにフランスの文化に興味を持ち自ら探究し、その魅力を発信できるようになることを目標とする。言語そのものでは、日常に溢れるフランス語を見つけ、その読み方・響きに慣れていく。最終的にはフランス語で自己紹介が出来たり、旅行をした際に現地の人と最低限のコミュニケーションができるようにする。

文化の面では、絵画や音楽等の芸術、料理、ファッションなど、フランス由来のものが何かをまず知り、それらの魅力を探っていく

2. 副教材・参考書

とくになし。教員作成の資料など

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

フランス語独特の響き、リズムがあります。積極的に発音をして楽しんでいきましょう。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭前には、発表資料の作成などがあります。

5. 評価の基準について

・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

授業計画	
学期	授業内容 (教材)
前期 (りんどう祭まで)	①4.15 オリエンテーション (自己紹介、クイズ)、ABC
	②5.13 基本的な挨拶、体調を尋ねる (体調が良い場合、悪い場合)
	③5.20 名前、住んでいるところ、兄弟 (友達) やペットについて話す (ポールとヴィルジニー)
	④5.27 アイスと色 椅子取りゲーム
	⑤6.3 『星の王子さま』の朗読 (CD や youtube の動画を用いる)
	⑥6.10 りんどう祭班分け、発表準備 (1 「体調 (②) & 自己紹介 (③)」、 「アイス (④)」、 『星の王子さま』 (⑤))
	⑦6.17 ⑧7.1 ⑨9.9 ⑩9.16 ⑪9.30 りんどう祭発表準備
	⑫10.7 りんどう祭授業内リハーサル
	⑬10.10 りんどう祭当日
	〈りんどう祭の発表〉
	1 「体調 (②) & 自己紹介 (③)」、 2 「アイス (④)」、 3 『星の王子さま』 (⑤)」 の 3 グループに分かれて発表する。 ※グループの数は変動の可能性がある
	1 フランス語で体調を尋ね合う、自己紹介をする (可能な人は自分のペットの写真を見せる)
	2 アイスの絵、または画像を作成し、それを見せながら、アイス絵を用いて説明された教科書のフランス語 (～が好きである、色) を暗唱する
3 『星の王子さま』の内容紹介とフランス語での朗読を行う	

21WS 前期(2026 年度)

単位数	1 単位 (10 月りんどう祭まで)
担当	茶道：池永 華道：菅 中野・栗山・時田
教科書	
対象生徒	中学 2 年生・中学 3 年生

1. 授業の目標

- ①茶道と華道を体験することで、日本の伝統文化の理解を深める。
- ②技術や作法の習得をするとともに、こころを豊かにする。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・時間に遅れずに集合する。
- ・挨拶・言葉遣いなど礼儀正しく授業に参加する。
- ・技術の習得のために、繰り返し練習を行う。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭発表に向けて、技術の習得のため練習を行う場合がある。

5. 評価の基準について

- ・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

- ・中 1 は、韓国語・フランス語・中国語のうち必ず 1 つを選択する。中 2・中 3 は、日本文化・プログラミングを加えた 5 つから 1 つを選択する。
- ・りんどう祭では、全ての授業が、講堂ステージで、成果発表を行う。

授業計画		
学期	日程	授業内容 (教材)
前期 (りんどう祭まで)	4 月 15 日	日本文化ガイダンス (短縮授業) 9:40~10:30
	5 月 13 日	華道① 9:50~10:40
	5 月 20 日	華道②
	5 月 27 日	華道③
	6 月 3 日	華道④ (短縮授業) 9:40~10:30
	6 月 10 日	茶道①
	6 月 17 日	茶道②
	7 月 1 日	茶道③
	9 月 2 日	中 1 不在のため なし
	9 月 9 日	茶道④
	9 月 16 日	茶道・華道 りんどう祭の発表練習
	9 月 30 日	茶道・華道 りんどう祭の発表練習
	10 月 7 日	茶道・華道 りんどう祭の発表練習 (短縮授業)
	10 月 9 日 (金)	りんどう祭準備内でリハーサル
10 月 10 日	りんどう祭当日 発表会	

21WS 前期 プログラミング(2026 年度)

単位数	1 単位
担当	横溝, 太田
教科書	プリント、iPad
対象生徒	中学 2 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標

- ①プログラミング学習を通して論理的思考を含む情報活用能力を身につける。
- ②簡単なコンテンツ（ゲームなど）を企画しまとめることができる。

2. 副教材・参考書

iPad のアプリ、プリントを適宜配布

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業で学んだ単元を繰り返し学習する。
- ・公開されているコンテンツなどを参考に予習する。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭に向けてコンテンツを作成し、説明用のプレゼンスライドを作成する。

5. 評価の基準について

- ・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

授業計画	
学期	授業内容（教材）
前期 (りんどう祭まで)	1. プログラミングの基本（逐次処理、イベントドリブン） 2. プログラミングにおける音の取り扱い（拡張機能 1） 3. 繰り返し処理のプログラミング 4. 条件分岐のプログラミング 5. 配列データを使ったプログラミング 6. カメラを使ったゲーム（拡張機能 2） 7. 夏休み課題 8. りんどう祭に向けてのプレゼン準備